

平成26年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アバント

 コード番号 3836 URL <http://www.avantcorp.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森川 徹治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当 (氏名) 春日 尚義

TEL 03-6864-0100

四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第3四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期	6,232	29.0	829	116.9	822	123.8	409	115.6
25年6月期第3四半期	4,832	64.2	382	18.5	367	23.1	189	24.2

(注) 包括利益 26年6月期第3四半期 409百万円 (113.2%) 25年6月期第3四半期 192百万円 (25.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第3四半期	87.20	—
25年6月期第3四半期	40.45	—

(注)平成25年11月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年6月期第3四半期	5,068	2,246	44.3
25年6月期	4,785	1,879	39.3

(参考) 自己資本 26年6月期第3四半期 2,246百万円 25年6月期 1,879百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	18.00	18.00
26年6月期	—	0.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2)平成25年11月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、平成26年6月期末の配当予想につきましては、当該株式分割を考慮した配当金の額を算定しております。

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,150	21.1	900	39.0	890	41.5	440	21.3	93.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注2)平成25年11月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益は、当該株式分割を考慮して算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社ディーバ 、 除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年6月期3Q	4,694,000 株	25年6月期	4,694,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年6月期3Q	202 株	25年6月期	202 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年6月期3Q	4,693,798 株	25年6月期3Q	4,693,842 株
----------	-------------	----------	-------------

(注)平成25年11月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.平成25年11月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

2.本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(以下、当第3四半期)におけるわが国経済は、政府の積極的な経済金融政策や消費税引き上げ前の駆け込み需要等に支えられ、緩やかな回復基調で推移いたしました。

ソフトウェアおよび情報サービス業界におきましても、受注競争は依然厳しいものの、パソコンのオペレーティングシステムのサポート終了による情報機器の更新投資の他、企業収益の改善・設備投資の回復にともない、クラウドコンピューティングやビッグデータの解析等、競争力強化のために新たなITサービスへの投資が増加しつつあります。

このような状況の下、当社グループは平成25年10月1日付で持株会社制へと移行し、経営資源の最適化と外部環境の変化に柔軟かつ迅速な対応を可能とする経営体制の確立を目指し、グループ各社がそれぞれ特色のある専門性の高いソフトウェア・情報サービスをお客様のニーズにあわせた多様なソリューションの提案・提供に注力してまいりました。また、グループ全体で戦略的パートナーとの連携強化を推進し、大型案件を含む販売機会の拡大を図ってまいりました。更に、生産性の改善とコスト削減も継続的に取り組み、高収益の維持にも努めてまいりました。

この結果、連結会計分野において新規の大型案件を成約し、自社製品DivaSystemの販売増により収益性の高いライセンスの売上比率が高まったことや、個別会計分野におけるMicrosoft Dynamics AX導入やBI分野における情報サービスの需要も堅調であったことなどから当社グループの当第3四半期における連結業績は、売上高6,232,660千円(前年同四半期比29.0%増)、営業利益829,372千円(前年同四半期比116.9%増)、経常利益822,604千円(前年同四半期比123.8%増)、当四半期純利益409,309千円(前年同四半期比115.6%増)となりました。また、単四半期としましてはグループ売上高2,281,072千円と営業利益474,524千円と何れも過去最高の水準を達成いたしました。

事業形態別の売上高の状況は以下のとおりです。

<ライセンス販売>

新規大型案件の成約によるDivaSystem売上の増加に加え、Microsoft Dynamics AXの会計テンプレートを開発・販売開始したことなども寄与し、ライセンスの売上高は、626,522千円(前年同期比68.8%増)と前年同四半期を大きく上回る結果となりました。

<コンサルティング・サービス>

DivaSystemを活用した経営管理案件のほか、株式会社ディーバ・ビジネス・イノベーションで展開している個別会計分野におけるMicrosoft Dynamics AX導入や株式会社ジールが得意とするBI分野におけるシステムインテグレーションサービスも堅調であったことなどから、コンサルティング・サービスの売上高は3,687,911千円(前年同期比32.0%増)となりました。

<サポート・サービス>

DivaSystem製品の保守売上は継続利用率の高さを背景に堅調に増加推移しており、継続的なバージョンアップによる機能強化や、サポート業務の顧客満足度向上に注力することで顧客基盤の安定・強化に努めております。一方、連結決算業務等のアウトソーシング・サービスも旺盛な顧客ニーズにより増加推移していることで、サポート・サービスの売上高は1,736,463千円(前年同期比17.0%増加)となりました。

<情報検索サービス>

検索機能の拡張等により顧客基盤の安定・強化に努めており、トライアルサービスの利用者は増加する傾向にありますが、スポット的に発生する特定顧客向け検索データのレポートサービス等の案件が当第3四半期は発生していないこともあり、売上高は前年同四半期に比べ微減の181,761千円(前年同期比1.2%減)となりました。

なお、当第3四半期の受注及び販売の状況は、次のとおりとなっております。

① 受注状況

(単位:千円 [単位未満切捨て])

	前年同四半期		当第3四半期		増減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
ライセンス販売	371,099	—	626,522	—	255,422	—
コンサルティング・サービス	3,125,971	774,041	3,589,067	655,236	463,096	△118,804
サポート・サービス	1,453,837	619,408	1,547,060	651,775	93,223	32,367
情報検索サービス	160,019	29,548	156,914	29,463	△3,104	△85
合計	5,110,928	1,422,998	5,919,566	1,336,475	808,637	△86,522

② 販売実績

(単位:千円 [単位未満切捨て])

	前年同四半期	当第3四半期	増減	
	金額	金額	金額	増減率(%)
ライセンス販売	371,099	626,522	255,422	68.8
コンサルティング・サービス	2,793,885	3,687,911	894,026	32.0
サポート・サービス	1,483,866	1,736,463	252,597	17.0
情報検索サービス	183,932	181,761	△2,170	△1.2
合計	4,832,784	6,232,660	1,399,875	29.0

(注) 上記①、②の表の金額には、消費税等は含まれていません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の資産合計は、5,068,741千円(前連結会計年度末比282,901千円増加)となりました。これは主に、現金及び預金の減少202,103千円と受取手形及び売掛金の増加486,009千円により流動資産が290,497千円増加した一方、有形固定資産の減少22,586千円、のれんの減少84,825千円と敷金及び保証金の増加93,158千円により固定資産が6,647千円減少したことによるものです。

負債合計は、2,821,911千円(前連結会計年度末比84,680千円減少)となりました。これは主に、未払金及び未払費用の増加132,365千円、未払法人税等の増加58,262千円、前受収益の減少223,459千円、賞与引当金の増加34,632千円により流動負債が38,444千円増加し、社債の減少30,000千円、長期借入金の減少91,845千円により固定負債が123,125千円減少したことによるものです。

また、純資産合計は2,246,829千円(前連結会計年度末比367,582千円増加)となりました。これは主に、四半期純利益409,309千円の計上と剰余金の配当42,244千円によるものです。自己資本比率は44.3%(前連結会計年度末は39.3%)であり、安定的な財務バランスを保っているものと考えております。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ202,103千円減少し、2,042,302千円となりました。グループ内における資金の効率運用を目指し、グループ各社の資金管理を親会社で行い、グループ内で資金を還流させることを開始したことにより、営業および投資活動に必要な資金については、現預金(自己資金)により賄うことを優先させております。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は109,684千円となりました。(前年同四半期は457,254千円の使用)

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益822,604千円、減価償却費63,559千円、のれん償却額84,825千円、たな卸資産の減少額45,752千円、未払金及び未払費用の増加額128,380千円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額486,009千円、法人税等の支払額382,750千円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は139,694千円となりました。(前年同四半期は673,648千円の使用)

支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出20,567千円、無形固定資産の取得による支出21,507千円、敷金及び保証金の差入による支出93,158千円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は172,645千円となりました。(前年同四半期は890,012千円の獲得)

収入は短期借入による収入350,000千円であり、支出の主な内訳は、短期借入金の返済による支出350,000千円、長期借入金の返済による支出98,545千円、配当金の支払額42,244千円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績につきましては、平成26年4月21日に「平成26年6月期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」で上方修正しており、そこからの変更はありません。

※ 上記は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社が平成25年10月に持株会社制へ移行したことに伴い、主要な事業であるソフトウェア事業を新たに設立した当社100%出資の子会社「株式会社ディーバ」が承継し、当社は「株式会社ディーバ」から「株式会社アバント」に商号を変更しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,244,406	2,042,302
受取手形及び売掛金	1,104,637	1,590,646
仕掛品	136,476	87,142
原材料及び貯蔵品	1,380	4,962
その他	314,539	368,828
貸倒引当金	—	△1,943
流動資産合計	3,801,440	4,091,938
固定資産		
有形固定資産	170,384	147,798
無形固定資産		
のれん	480,675	395,850
ソフトウェア	40,376	43,276
その他	1,011	982
無形固定資産合計	522,063	440,109
投資その他の資産		
敷金及び保証金	235,614	328,773
その他	53,278	58,012
投資その他の資産合計	288,893	386,786
固定資産合計	981,341	974,693
繰延資産		
社債発行費	3,057	2,108
繰延資産合計	3,057	2,108
資産合計	4,785,839	5,068,741
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	292,074	312,157
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	129,160	122,460
未払金及び未払費用	152,251	284,616
未払法人税等	217,008	275,270
前受収益	939,744	716,284
賞与引当金	275,413	310,045
役員賞与引当金	48,636	53,755
受注損失引当金	39,839	—
その他	163,453	221,436
流動負債合計	2,317,582	2,356,027
固定負債		
社債	90,000	60,000
長期借入金	396,210	304,365
資産除去債務	95,301	95,944
その他	7,497	5,574
固定負債合計	589,009	465,884
負債合計	2,906,591	2,821,911

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	288,400	288,400
資本剰余金	225,200	225,200
利益剰余金	1,365,925	1,732,991
自己株式	△92	△92
株主資本合計	1,879,432	2,246,498
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	101	71
為替換算調整勘定	△285	260
その他の包括利益累計額合計	△184	331
純資産合計	1,879,247	2,246,829
負債純資産合計	4,785,839	5,068,741

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
売上高	4,832,784	6,232,660
売上原価	2,883,561	3,443,511
売上総利益	1,949,222	2,789,148
販売費及び一般管理費	1,566,808	1,959,775
営業利益	382,414	829,372
営業外収益		
受取利息	346	687
業務受託料	200	—
未払配当金除斥益	128	—
その他	—	7
営業外収益合計	674	695
営業外費用		
支払利息	8,562	6,045
支払手数料	5,079	401
その他	1,918	1,016
営業外費用合計	15,561	7,463
経常利益	367,527	822,604
税金等調整前四半期純利益	367,527	822,604
法人税、住民税及び事業税	217,279	446,512
法人税等調整額	△39,623	△33,217
法人税等合計	177,656	413,294
少数株主損益調整前四半期純利益	189,871	409,309
四半期純利益	189,871	409,309

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	189,871	409,309
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	197	△29
為替換算調整勘定	2,189	546
その他の包括利益合計	2,387	516
四半期包括利益	192,258	409,826
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	192,258	409,826
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	367,527	822,604
減価償却費	80,823	63,559
たな卸資産評価損	750	—
社債発行費償却	948	948
のれん償却額	57,826	84,825
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	1,943
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△22,470	△39,839
賞与引当金の増減額(△は減少)	86,211	34,632
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,400	5,119
受取利息及び受取配当金	△346	△687
支払利息	8,562	6,045
支払手数料	5,079	401
売上債権の増減額(△は増加)	△896,993	△486,009
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,659	45,752
仕入債務の増減額(△は減少)	349,403	20,083
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	98,355	128,380
前受収益の増減額(△は減少)	△168,705	△223,459
その他	△83,717	33,434
小計	△127,804	497,733
利息及び配当金の受取額	346	687
利息の支払額	△8,319	△5,986
法人税等の支払額	△321,475	△382,750
営業活動によるキャッシュ・フロー	△457,254	109,684
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△78,638	△20,567
有形固定資産の売却による収入	101	—
無形固定資産の取得による支出	△10,965	△21,507
敷金及び保証金の差入による支出	△33,406	△93,158
事業譲受による支出	△546,278	—
保険積立金の積立による支出	△4,459	△4,459
投資活動によるキャッシュ・フロー	△673,648	△139,694

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	488,000	350,000
短期借入金の返済による支出	△15,000	△350,000
長期借入れによる収入	600,000	—
長期借入金の返済による支出	△44,015	△98,545
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△10,701	△1,856
社債の償還による支出	△105,000	△30,000
支払手数料の支出	△4,495	—
配当金の支払額	△18,775	△42,244
財務活動によるキャッシュ・フロー	890,012	△172,645
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,226	551
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△238,663	△202,103
現金及び現金同等物の期首残高	2,121,988	2,244,406
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,883,324	2,042,302

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。